
環 境 経 営 レ ポ ー ト

2023年(67期)版

(2023年 7月 ~ 2024年 6月)

初 版 2024年 7月30日

第 2 版 2024年 9月10日

第 3 版 2024年 9月25日

応用電子工業株式会社

〒171-0044 東京都豊島区千早 2-22-5

[電 話] 03(3959)7701

[F A X] 03(3959)7684

目次

I．事業活動の概要 1

II．環境実施体制図 2

III．環境経営方針 2023 年版..... 3

IV．2023年度 環境経営目標 4

V．2023年度 環境経営計画取組状況..... 6

VI．2023年度 環境経営目標の結果と評価 10

VII－i．2024年度 環境経営計画 11

VII－ii．2024年度 環境経営目標 14

VIII．環境関連法規への違反、訴訟等の有無..... 16

IX．代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果 17

I. 事業活動の概要

2023 年度

事業所名

応用電子工業株式会社

取締役社長

小池 志郎

所在地

本社・工場 : 東京都豊島区千早 2-22-5

福山事業所 : 広島県福山市霞町 4-4-22 小林ビル

環境管理責任者

室井 健二 ・ 山下隆之

連絡先

環境事務局 池田実千代 : 03-3959-7701

事業内容

産業用電子制御機器の開発、製造及び販売

事業の規模

資本金 3200万円

社員数 本社・東京 : 19 名

福山事業所 : 1 名

設立 1958年11月21日

床面積 本社・東京 : 509m²

福山事業所 : 97m²

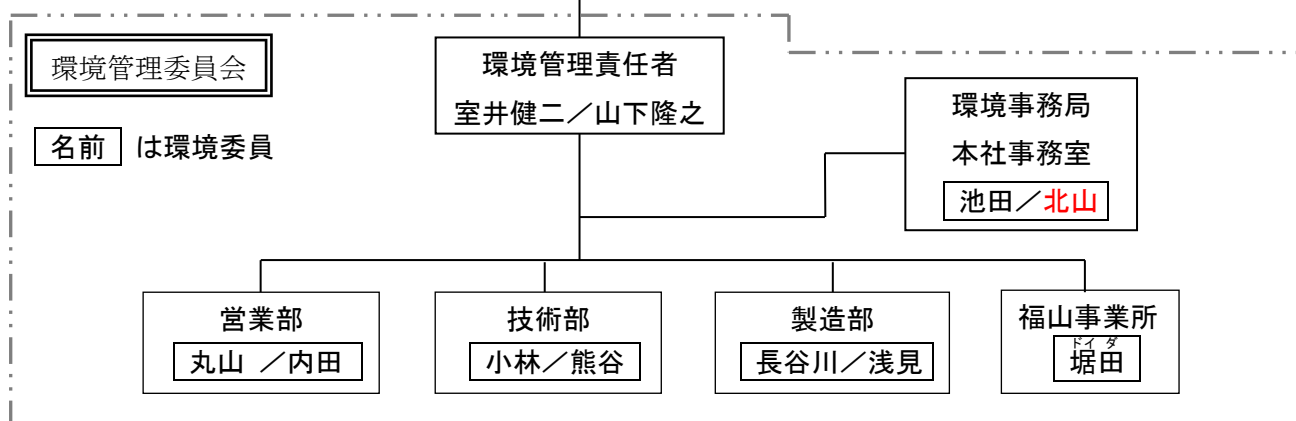
Ⅱ. 環境実施体制図

更新日 2023 年 9 月 25 日

代表者 小池 志郎

責任者 室井健二／山下隆之

作成者 山下隆之



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者の決定 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・「経営における課題とチャンス」の明確化 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 (管理責任者補佐) 山下・長谷川・丸山	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局 (環境委員)	・環境管理責任者の補佐、EA21 環境事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備え付けと事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門における従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境理念

応用電子工業株式会社は、産業用電子制御機器の開発、製造及び販売の事業活動をととして、地球と地域の環境の保全に貢献します。

環境方針

1. 環境経営に積極的に取組むために、環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取り組めます。
2. 環境への取組みとして、特に次の事項に取り組めます。
 - 販売する商品に含まれる有害物質の削減
 - 製造・販売における省エネ活動の推進
 - 環境配慮型商品を製作するメーカーへの技術的支援
3. 環境に関する法律・規則・協定を遵守します。
4. 環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

改定日

令和 5 年 4 月 1 日

応用電子工業株式会社

取締役社長 小池 志郎

Ⅳ. 2023 年度 環境経営目標

◆ 2017年版「エコアクション21ガイドライン」の『環境経営』の考えに基づく。

■東京本社・工場 及び福山事業所の
単年度目標、及び中期目標を設定した。

2023 年 4 月 25 日

東京 本社・工場				
	2023年	2024年	2025年	2026年
1. CO2 合計	17,500 kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂
① 電力 東京電力	31,500 kWh	前年比 -1%	前年比 -1%	前年比 -1%
	CO ₂	14,207 kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂
	排出係数	0.451 kg-CO ₂ /kWh (2021 年度実績・調整後係数による)		
② ガソリン	1,300 L	1,500 L	1,500 L	1,500 L
	CO ₂	3,016 kg-CO ₂	3,480 kg-CO ₂	3,480 kg-CO ₂
	排出係数	2.32 kg-CO ₂ /L		
③ 都市ガス 東京ガス	125 Nm ³	125 Nm ³	125 Nm ³	125 Nm ³
	CO ₂	277 kg-CO ₂	277 kg-CO ₂	277 kg-CO ₂
	排出係数	2.21 kg-CO ₂ /m ³		
2. 水道使用量	170 m ³	170 m ³	170 m ³	170 m ³
3. 廃棄物				
プラスチック	200 kg	200 kg	200 kg	200 kg
ダンボール	450 kg	450 kg	450 kg	450 kg
産業廃棄物	数年ごと状況に応じて不定期に処分 (処分時に計量)			
4. 商品に含まれる鉛の削減	総台数 3,500 台	総台数 3,620 台	総台数 3,850 台	総台数 4,000 台
	鉛フリー 3,500 台	鉛フリー 3,620 台	鉛フリー 3,850 台	鉛フリー 4,000 台
	鉛フリー率 100.0%	鉛フリー率 100.0%	鉛フリー率 100.0%	鉛フリー率 100.0%
5. コピー用紙 A-4 換算	40,000 枚	40,000 枚	40,000 枚	40,000 枚

福山事業所

		単年度目標	中期目標		
		2023年	2024年	2025年	2026年
1. CO2		1,313 kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂
①	電力	2,450 kWh	前年比 -1%	前年比 -1%	前年比 -1%
	中国電力				
	CO ₂	1,313 kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂
	排出係数	0.536 kg-CO ₂ /kWh (2021年度実績・調整後係数による)			
2. 廃棄物					
一般廃棄物					
資源		数年ごと状況に応じて不定期に処分 (処分時に計量)			
産業廃棄物					
4. 商品に含まれる鉛の削減	総台数	1,400 台	1,470 台	1,500 台	1,550 台
	鉛フリ-	1,400 台	1,470 台	1,500 台	1,550 台
	鉛フリ-率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

CO ₂ 全社合計	2023年度	2024年	2025年	2026年
	18,813 kg-CO ₂	前年比 -1%	前年比 -1%	前年比 -1%

V. 2023年度 環境経営計画取組状況

2024 年 7 月 19 日

◆ 2017年版「エコアクション21ガイドライン」の主要な改訂ポイントである『環境経営』の考えに基づく目標(行動・活動)を行います。

【基本計画】

- ◇ 政府発表の2030年削減目標を指針とし、積極的な行動を目指す。
- ◇ 電力の節電を中心に削減を実現する。
- ◇ 弊社製品の販売を通じて、顧客の製品における省エネの推進に貢献する。

【実行計画】

- ◇ 今年度はコロナ明けの一年となり本来の通常業務に戻り、実績値も大きく変動すると思われる。
- ◇ 今年度は業務時間の増加を加味して目標値を再構築設定する。

1. CO₂

計画			結果
電力	全社共通	2022年度実績活動を継続する。 ① 無人箇所や昼休み中の室内照明の消灯、及びランプの間引き ② パソコン一時待機時、省電力モード切替の徹底 ③ エアコン空調効率維持 フィルター清掃, ガス圧点検, 室内温度管理 ④ 削減意識は常に持ち活動の改善を図る	① 関連: 継続実施中 ② 関連 東京: 退社時、ディスプレイ・OFF の不徹底が散見 ③ 関連 東京: 冷媒ガス圧点検実施・全機 異常なし ④ 関連: 今後、エアコンの管理が重要課題となる
	東京	① エアコンとサーキュレータ併用の空調効率の向上を継続。	① 継続運用
	福山	倉庫として一部屋増えた分と、業務時間の増加を加味して目標値を設定する。	● 倉庫の電気使用は照明と掃除機くらいになる ● 夏場は明るく、照明をほとんど使わずに済んだ 目標を十分クリアできた
②ガソリン (東京のみ)		2022年度実績活動を継続する。 ① 自動走行機能の活用による安定走行の実施 ② 車両点検整備の実施	①, ② 関連: 継続実施中 ● 客先訪問が想定より少ない模様 非対面の形式が有る程度定着した
③都市ガス	東京: 季節ごとの適切な使用を徹底する。 ① 適正な湯沸かし量の維持(コンロ) ② 湯沸かし器は、時期を意識して適正に使用する		① 適正量を維持 ② 関連 夏場の湯沸かし器給湯について、要検討

2. 水道	計 画	結 果
	東京：安定的な使用状況を引き続き維持して行く。 ① トイレの[大][小]水流の適正な使用を徹底する ② 水道管の老朽化による漏水の監視を引き続き実施する(毎月一回)	① 関連 適正な使用の周知徹底 ② 関連 水道メータと管の露出部分の目視点検を実施
3. 廃棄物	一般廃棄物（プラスチック） ● 自治体の処分方法に従う 東京：2022年度実績活動を継続する。 ① 昨年度促進出来なかった通い箱の採用を引き続き進める ② 送られてきた荷物の梱包材の再利用を促進する 福山：産廃として他の廃棄物と一緒に、まとめて処分する 有用資源：ダンボール・リサイクル業者引き取り 東京：毎週 福山：数年ごと適時 産業廃棄物：関連法規を遵守する 混合廃棄物として数年ごと適時	適宜処分方法の再確認と周知徹底を実施 ① 関連 板金部品製作会社・1社と合意：計・4社で実施 ② 関連 リユースラベルを作成し貼付することで、保管する物と廃棄する物の仕分けを実施 ● 倉庫(部屋)内に廃棄物保管場所を設けた 処分なし 東京：毎週実施 適正な保管方法の周知徹底を実施 東京：廃棄物保管庫の正規標識を設置
4. 商品の鉛フリー化	プリント基板実装の鉛フリー化 ① 東京：完了した ② 福山：昨年度、完了した	

5.	計 画	結 果
コピー用紙	東京：取扱説明書の電子ファイル化を積極的に推進する 全社：削減意識をもって、昨年度まで実施してきた活動を継続する ① 複合機を活用し、ロスコピーや DM・FAX によるムダ印刷の防止 ② 社内向け文書は、裏紙や両面印刷で新用紙の使用抑制する	東京：電子ファイルでの提供は進んでいない 全社：①, ② 継続実施中 ① 関連 福山：複合機ではないが、発信元番号により判別し、必要なものだけ手動印刷

Ⅵ. 2023年度 環境経営目標の結果と評価

◆ 2017年版「エコアクション21ガイドライン」の『環境経営』の考えに基づく。

2024 年 7 月 30 日

東京 本社・工場	結果
----------	----

		目標	結果	評価	
1. CO ₂ 合計		17,500 kg-co ₂	17,763 kg-co ₂	〔1.5% 増〕	
	東京電力	31,500kwh	31,883 kWh	〔1.2% 増〕 7～9 月が目標値を上回り残業も増加した事が影響した。	
	CO ₂ 排出量	14,207 kg-co ₂	14,379 kg-co ₂		
	排出係数	0.451 kg-CO ₂ /kWh (2021 年度実績・調整後係数による)			
②	ガソリン	1,300 L	1,340 L	〔3.1% 増〕 2023 年 12 月、車両 2 台中 1 台を廃車にすることで主に交通機関を使用することにした。	
	CO ₂	3.016 kg-co ₂	3,108 kg-co ₂		
	排出係数	2.32 kg-CO ₂ /L			
③	都市ガス 東京ガス	125 Nm ³	125 Nm ³	〔増減なし〕 コロナ前の水準に戻り運用が適切に行われた。	
	CO ₂	270 kg-co ₂	276 kg-co ₂		
	排出係数	2.21 kg-CO ₂ /m ³			
2. 水道使用量		170 m ³	161 m ³	〔5.3% 減〕 コロナ前の水準に戻り運用が適切に行われたと推測。	
3. 廃棄物					
プラスチック		200 kg	125.8 kg	〔37% 減〕	社会的なプラスチック削減意識向上の影響も考えられる
ダンボール		450 kg	461.1 kg	〔2.5% 増〕	
産業廃棄物	混合廃棄物		410 kg	---	
			0kg		
4. 商品に含まれる鉛の削減	総台数 3,330 台	総台数 3573 台	生産台数〔7.3% 増〕 若干の増産を実現できた。 鉛フリー化は 100% 達成している。		
	鉛フリー 3,330 台	鉛フリー 3573 台			
	鉛フリー率 100%	鉛フリー率 100%			
5. コピー用紙 A-4 換算		40,000 枚	35,500 枚	〔11.3% 減〕 増産の中で、削減できた。	

福山事業所

結果

		目標	結果	評価
1. CO ₂		1313 kg-co ₂	1,200kg-co ₂	[8.6% 減]
①	電力 中国電力	2,450 kWh	2,239kWh	[8.6% 減] 後半期、諸事情により出社日数減の 為
	CO ₂	1,313 kg-co ₂	1,200kg-co ₂	
	排出係数 0.536 kg-CO ₂ /kWh (2021 年度実績・調整後係数による)			
2. 廃棄物				
資源		---		
産業廃棄物		---	115 kg	混合廃棄物として本社にて処分
4. 商品に含まれる鉛の削減		総台数 1,040 台	総台数 1,260 台	生産台数[26.3% 増]
		鉛フリー 1,040 台	鉛フリー 1,260 台	
		鉛フリー率 100%	鉛フリー率 100%	

	目標		結果		
電力(本社)	14,207 kg-CO ₂	31,500kwh	14,379 kg-CO ₂	31,883kWh	[1.2%増]
電力(福山)	1,313 kg-CO ₂	2,450kWh	1,200 kg-CO ₂	2,239kWh	[8.6%減]
ガソリン	3,016 kg-CO ₂	1,300 L	3,108 kg-CO ₂	1,340 L	[3.1%増]
都市ガス	270 kg-CO ₂	125Nm ³	276 kg-CO ₂	125 Nm	[増減なし]
CO ₂ 全社合計	18,813 kg-CO ₂		18,963 kg-CO ₂ [0.8% 増]		

① 電力使用量: 目標値に対し[東京:1.2%・増][福山:8.6%:減][全社:0.8%:増]

《 評価 》

電力の使用量に最も影響が大きなものがエアコンである。昨今の異常ともいえる気温の高い中、全社で[0.8%・増]に抑えられたことは評価する。

来期はこの”もう少し”を検証し[減]となる事を目指す。

② ガソリン使用量: 目標値に対し[3.1%・増]

《 評価 》

[減]と成らなかった事は残念であった。やはり走行中のエアコン使用による増加が原因か。

来期は車種変更などを検討し、燃費の改善をはかる。

③ 都市ガス使用量: 目標値に対し[増減なし]

《 評価 》

例年通り一定の使用量をキープしたことを評価する。

◆ 2017年版「エコアクション21ガイドライン」の主要な改訂ポイントである『環境経営』の考えに基づく目標(行動・活動)を行います。		
1. CO ₂	◇ 政府発表の 2030 年削減目標を指針とし、積極的な行動を目指す。 ◇ 電力の節電を中心に削減を実現する。 ◇ 弊社製品の販売を通じて、顧客の製品における省エネの推進に貢献する。 ◇ 再生可能エネルギー系電力の状況を注視し、機会をとらえて再度切換えも検討する。	
コロナの分類が変更され、今年度もさらに社会の動きが通常業態に戻る事が想定される反面、非対面での業務が確立している顧客もあり、外出を伴う(自動車を使う)業務はそれほど大きく増加しない見通しである。 前年度実績を基に、業務内容の変化等を加味して目標値を設定する。		
①電力	全社 共通	2023年度実績活動を継続する。 ⑤ 無人箇所や昼休み中の室内照明の消灯、及びランプの間引き ⑥ パソコン一時待機時、省電力モード切替えの徹底 ⑦ エアコン空調効率維持:フィルター清掃, ガス圧点検, 室内温度管理 ⑧ 削減意識は常に持ち活動の改善を図る
	東京	エアコンの使用状況が大きく影響することから、改めて設定温度の見直しを行う。(朝, 昼, 夕で外気温に応じて変更するなど) エアコンとサーキュレーター併用の空調効率化向上を継続。
	福山	昨年度の一部屋増加分の予測を修正し、実績に即した目標値を設定する。
① ガソリン	2023年度実績活動を継続する。 ● 自動走行機能の活用による安定走行の実施 ● 車両点検整備の実施 ● 1 車両の廃車	
③都市ガス	東京: 季節ごとの適切な使用を徹底する。 ● 適正な湯沸かし量の維持 ● 湯沸かし器は、時期を意識して適正に使用する	
2. 水道	東京: 安定的な使用状況を引き続き維持して行く。 ● トイレの[大][小]水流の適正な使用を徹底する ● 水道管の老朽化による漏水の監視を引き続き実施する	
	福山: 昨年度同様、環境活動レポートの掲載項目から削除する。 ● 使用量が少なく、且つ福山は共同水道のため使用量が把握できないため削減対象にならないと判断した。	

3. 廃棄物	一般廃棄物（プラスチック）：自治体の処分方法に従う	
	東京：2023年度実績活動を継続する。 ⑨ 通い箱の採用を引き続きに進める ⑩ 送られてきた荷物の梱包材の再利用を促進する 福山：産廃として他の廃棄物と一緒に、まとめて処分する。	
	有用資源：ダンボール・リサイクル業者引き取り	
	東京：毎週	福山：数年ごと適時
	産業廃棄物：関連法規を遵守する 混合廃棄物として数年ごと適時。	
4. 商品に含まれる鉛の削減	プリント基板実装の鉛フリー化：昨年度完了した。 今年度、新たな取り組みの検討を行う。	
5. コピー用紙	東京：取扱説明書の電子ファイル化を積極的に推進する。 全社：削減意識をもって、昨年度まで実施してきた活動を継続する。 ● 複合機を活用し、ロスコピーやDM・FAXによるムダ印刷の防止 ● 社内向け文書は、裏紙や両面印刷で新用紙の使用を抑制する	

Ⅶ－ⅱ．２０２４年度 環境経営目標

◆ ２０１７年版「エコアクション２１ガイドライン」の『環境経営』の考えに基づく。

■東京本社・工場 及び大阪営業所、福山事業所の
単年度目標、及び中期目標を設定した。

２０２４年 ７月 １９日

東京 本社・工場

		単年度目標	中期目標		
		2024年	2025年	2026年	2027年
1. CO2 合計		15,130 kg-co ₂	kg-co ₂	kg-co ₂	kg-co ₂
①	電力 東京電力	31,500 kWh	前年度比 -1%	前年度比 -1%	前年度比 -1%
	CO ₂	11,844 kg-co ₂	kg-co ₂	kg-co ₂	kg-co ₂
	排出係数	0.376 kg-CO ₂ /kWh (2022年度実績・調整後係数による)			
②	ガソリン	1,300 L	1,500 L	1,500 L	1,500 L
	CO ₂	3,016 kg-co ₂	3,480 kg-co ₂	3,480 kg-co ₂	3,480 kg-co ₂
	排出係数	2.32 kg-CO ₂ /L			
③	都市ガス 東京ガス	125 Nm ³	125 Nm ³	125 Nm ³	125 Nm ³
	CO ₂	270 kg-co ₂	270 kg-co ₂	270 kg-co ₂	270 kg-co ₂
	排出係数	kg-CO ₂ /m ³			
2. 水道使用量		170 m ³	170 m ³	170 m ³	170 m ³
3. 廃棄物					
プラスチック		200 kg	200 kg	200 kg	200 kg
ダンボール		450 kg	450 kg	450 kg	450 kg
産業廃棄物		数年ごと状況に応じて不定期に処分 (処分時に計量)			
4. 商品に含まれる鉛の削減	総台数 3,500 台	総台数 3,620 台	総台数 3,850 台	総台数 4,000 台	
	鉛フリー 3,500 台	鉛フリー 3,620 台	鉛フリー 3,850 台	鉛フリー 4,000 台	
	鉛フリー率 100.0%	鉛フリー率 100.0%	鉛フリー率 100.0%	鉛フリー率 100.0%	
5. コピー用紙 A-4 換算		40,000 枚	40,000 枚	40,000 枚	40,000 枚

福山事業所

		単年度目標	中期目標		
		2024年	2025年	2026年	2027年
1. CO2		1, 333 kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂
①	電力	2, 450 kWh	前年度比 -1%	前年度比 -1%	前年度比 -1%
	中国電力				
	CO ₂	1, 333 kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂
排出係数		0.544 kg-CO ₂ /kWh （2022年度実績・調整後係数による）			
2. 廃棄物					
一般廃棄物		数年ごと状況に応じて不定期に処分 （処分時に計量）			
資源					
産業廃棄物					
4. 商品に含まれる鉛の削減		総台数 1, 400 台	総台数 1, 470 台	総台数 1, 500 台	総台数 1, 550 台
		鉛フリー 1, 400 台	鉛フリー 1, 470 台	鉛フリー 1, 500 台	鉛フリー 1, 550 台
		鉛フリー率 100. 0%	鉛フリー率 100. 0%	鉛フリー率 100. 0%	鉛フリー率 100. 0%

CO ₂ 全社合計	2024年度	2025年	2026年	2027年
	16,463 kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂

Ⅷ. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年 7 月 19 日

環境関連法規等 一覧表

No.	法律・条令・その他 名称(最近の改正日)	評価項目 内容	遵守評価 実施日	評価結果 判定
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 S45 年12月25日制定	状況確認 契約期間 保管 報告済み	2023/4/25 2023/4/25 2023/4/25 2023/4/25	遵守
2	豊島区廃棄物の発生抑制、再利用に よる減量及び適正処理に関する条例 H11 年12月22日制定	状況確認	2023/4/25	遵守
3	福山市廃棄物の処理及び再生利用等に 関する条例 H5 年 3 月 24 日制定 福山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 S47年制定	契約期間 マニフェス ト 報告済み	2023/4/25 2023/4/25 2023/4/25	遵守 遵守 遵守
4	フロン排出抑制法 2015 年 4 月施行		2023/4/25	遵守
5	1.特定化学物質の環境への排出量の把握 及び管理の改善の促進に関する法律 H12 年7月13日制定	対象物なし	2023/4/25	遵守
		対象物なし	2023/4/25	遵守

2023年度（2023 年 7 月度 ～ 2024 年 6 月度）

環境関連法規への違反・訴訟はありません。

また、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

IX. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

2024 年 9 月 10 日

代表者による全体の取組状況評価

④ 業務形態の変更 : 事業所の在り方の検討

《 評価 》

グローバル電子グループへの参加により、グループ会社間での業務分担を明確化し、応用電子工業としての事業所・各部署における業務形態の最適化について検討を進める。

⑤ 電力使用量 : 目標値に対し [東京 : 1.5%・増] [福山 : 8.6%・減] [全社 : 0.8%・増]

《 評価 》

電力の使用量に最も影響が大きなものがエアコンである。昨今の異常ともいえる気温の高い中、全社で [0.8%・増] に抑えられたことは評価する。

来期はこの”もう少し”を検証し [減] となる事を目指す。

③ ガソリン使用量 : 目標値に対し [3.1%・増]

《 評価 》

[減] と成らなかった事は残念であった。やはり走行中のエアコン使用による増加が原因か。来期は車種変更などを検討し、燃費の改善をはかる。

④ 都市ガス使用量 : 目標値に対し [増減なし]

《 評価 》

例年通り一定の使用量をキープしたことを評価する。

⑤ 全社合計結果による Co2 の排出量 : 目標値に対し [0.8%・増]

目標値 18,813kg-co2 : 結果 18,963kg-co2

《 評価 》

想定していた目標値を達成できなかった事実は重くとらえている。出来なかった理由を解明し、対応策を検討・実施することで、「環境に優しい企業」として、更に社会への認知度を高めていくようにする。

代表者による変更の必要性

1. 環境経営方針の変更	無し
2. 環境経営目標の変更	無し
3. 環境経営計画の変更	無し
4. 環境取組の変更	無し
5. 実施体制の変更	有り